

企業セミナー

In ロボットフェスタふくしま2016

参加費
無料

福島県では、震災からの産業復興のための柱の一つとして、ロボット産業の振興を位置づけており、「ロボット産業革命の地ふくしま」を目指した取組を行っております。その一環として、県内事業者のロボット関連産業への参入を後押しするため、ロボットフェスタふくしま2016において企業セミナーを開催致します。県内外より、ロボット関連産業に精通した方を、講師として招いておりますので、ふるってご参加ください。

日時:平成28年11月19日(土) 11:00~15:25【途中12:00~13:00昼休憩】

会場:ビックパレットふくしま @ロボットフェスタふくしま会場内特設ブース

プログラム

講演

(1) 11:00~12:00 『次世代ロボットの最前線と実用化・ビジネス化のポイント』

講師:三井住友海上火災保険(株) 公務開発部 開発室 上席課長 北河 博康 様

「ロボット革命イニシアティブ協議会のコアメンバー」「埼玉県ロボットプロジェクト事業化推進アドバイザー」「国や自治体のロボット事業の審査員」を務め、多くのロボットメーカー、大学、ユーザー業界からの相談に応じている講師が、次世代ロボットの最新動向、ロボットビジネスを巡る課題や失敗・成功のポイントなどを具体的に解説します。

(2) 13:00~14:00 『生活支援ロボットの安全規格ISO13482:2014とJQAの評価・認証の活用について』

講師:(一財)日本品質保証機構 認証制度開発普及室 室長 浅田 純男 様

生活支援ロボットの安全規格ISO13482:2014要求事項の概要および第三者による評価・認証のプロセスの概説、ロボット介護機器の開発プロセスにおける第三者評価・認証の活用のメリットについて紹介致します。

(3) 14:05~14:50 『櫛葉遠隔技術開発センターの紹介』

講師:国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 モックアップ試験施設部 部長 川妻 伸二 様

日本原子力研究開発機構櫛葉遠隔技術開発センターは、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉に必要な遠隔操作機器・装置および福島・国際研究産業都市構想(イノベーション・コースト構想)の一環として災害対応ロボット等の開発支援を行っている。当センターでは、ロボット試験用水槽、モックアップ階段および大型モーションキャプチャーを有しており、企業、大学、研究機関等に貸し出しを行っている。さらに、ロボット開発支援にも役立つロボットシミュレータ開発、ロボット等試験法開発、レーザー加工・診断技術開発なども行っている。

(4) 14:55~15:25 『ソフトウェアから見たロボット開発』

講師:公立大学法人 会津大学コンピュータ理工学部 上級准教授 渡部 有隆 様

AI(人工知能)や自律制御など、ロボットにおけるソフトウェアの役割がますます高まっています。会津大学では、ロボット産業の発展に向けて、ソフトウェアの標準化やインターフェイスの共通化を図るため、RTC-Library-FUKUSHIMAを立ち上げました。講演ではソフトウェアコンポーネントの作り方を学ぶことができるRTミドルウェア講習会の内容を説明しながら、ロボット開発におけるソフトウェアの重要性を説明します。

お問合せ先・申込先

福島県商工労働部ロボット産業推進室【担当:鈴木・臺(だい)】

TEL:024-521-8058 FAX:024-521-7932 E-mail:robot@pref.fukushima.lg.jp

下記にご記入いただき、申込先までメール・FAXにてご提出ください。【期限:11月18日(金)】

ご出席者	お名前		部署・役職	
	お名前		部署・役職	
	お名前		部署・役職	
ご連絡先	御社名		担当者名	
	TEL		E-mail	